



リュウノウギク(キク科) 葉は掌形で、舌状花は白い。



シロノセンダングサ(キク科) 白い舌状花が顕著なもの。同一個体で顕著でない花もある。



シラヤマギク(キク科) 白い舌状花がまばらにつく。



アメリカセンダングサ(キク科) 種子は扁平で、先に2本の棘がある。



ヒヨドリバナ(キク科) 果実は熟すと白い冠毛が開く。



ヤクシソウ(キク科) 全体に柔らかく、葉は茎をいだき、花は黄色い。



コセンダングサ(キク科) 種子は細長く、先に3本の棘がある。



センボンヤリ(キク科) 長い花茎の先に淡褐色の冠毛が毛槍のようにつく。



イソギク(キク科) 葉の縁と裏は銀白色で、筒状花のみからなる黄色い頭花が密集してつく。



トキリマメ(マメ科) 3小葉の先は細くてとがり、豆果は熟すと赤くなり、黒い種子が2つ現れる。



ワレモコウ(バラ科) 暗紅紫色の花が筒状にかたまって咲く。



ヌスピトハギ(マメ科) 実は半円形の小節果2つからなり、衣服などにくっつく。



ヤマハギ(マメ科) 豆果は種子を1つ含み、熟しても自然には裂けない。



サクラタデ(タデ科) 細長い花序に桜色の花が並ぶ。花序がイヌタデほど太くない。



ツルマメ(マメ科) 葉は3出複葉で、マメ果には毛がある。大豆の原種。



オトギリソウ(オトギリソウ科) 葉は楕円形で十字形に対生し、花弁と萼片には黒点がある。



コマツヨイグサ(アカバナ科) 茎は地をはい、花は黄色で午後には閉じる。



ムクロジ(ムクロジ科) 葉は偶数羽状複葉で、飴色の丸い袋にはいった果実ができる。



コシオガマ(ゴマノハグサ科) 全体に腺毛があってべたべたし、筒形の花を咲かせる。



ヤマハンノキ(カバノキ科) 楕円形の果実は熟すと松笠のように開く。



スイカズラ(スイカズラ科) 葉は長楕円形で丸い液果が通常2対つき、熟すと黒くなる。



ムクノキ(ニレ科) 球形の果実は紫黒色に熟し、甘みがある。



ヒヨドリジョウ(ナス科) 葉は基部が張り出し、実は赤橙色に熟す。



ハゼノキ(ウルシ科) 果実は偏球形でロウを含む。体質によってかぶれる。



キリ(ゴマノハグサ科) 果実は熟すと2つに裂け、翼のある種子を風で飛ばす。



ツルウメモドキ(ニシキギ科) 黄色い果実が熟すと3つに割れて赤い種が現れる。



マユミ(ニシキギ科) 淡紅色で4稜のある果実が裂開すると、橙赤色の種子が現れる。



メリケンカルカヤ(イネ科) 熟すと、花茎から何段にも白い毛が出る。



ヒイラギ(モクセイ科) 若木の葉には鋭い鋸歯があるが、老木では鋸歯がなくなる。



台湾ンホトトギス(ユリ科) 花茎が枝分かかれし、紅紫色の斑点のある花を咲かせる。